

授業科目 解剖学

【担当教員名】 熊木 克治	対象学年	1	対象学科	義肢
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

医学、医療の基本知識として、人体の構造と機能を学び、科学的観察力と考察力を習得し、人体の局所解剖学的特徴を理解し説明できる。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- 1 人体の基本構造、「体幹」「四肢」ならびに「頭部」「内臓」を局所解剖学的に理解し説明できる。
- 2 骨、靭帯や筋肉に関する形態と機能について理解し説明できる。
- 3 脈管系に関する形態と機能について理解し説明できる。
- 4 末梢神経系に関する形態と機能について理解し説明できる。
- 5 内臓に関する形態と機能について理解し説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	解剖学は何故必要か 形態と機能 ヒトはどのようにしてできたか ヒトの体は二重の筒		
2	体幹(1) 椎骨と脊髄神経 分節構造		
3	体幹(2) 肋間神経 胸部：古き革袋に新しき酒 腹部：破れ提灯		
4	体幹(3) 頸も胴体である 頸は吹き抜け 会陰は蛇腹を押し込んだ状態		
5	四肢(1) 上肢の解剖学 腕神経叢 屈側(筋)と伸側(筋)		
6	四肢(2) ヒトの手は便利? 高等? 機能解剖学		
7	四肢(3) 下肢の解剖学 腰仙骨神経叢		
8	四肢(4) 上肢と下肢の比較		
9	脳神経(1) 頭蓋骨と脳神経の特徴		
10	脳神経(2) 鰓弓器官(1) 咀嚼：三叉神経		
11	脳神経(3) 鰓弓器官(2) 哺乳：顔面神経		
12	脳神経(4) 鰓弓器官(3) 嚥下・発声：舌咽・迷走・副神経		
13	内臓(1) 循環器系 心臓、肺 頭部の動・静脈		
14	内臓(2) 消化器系 泌尿生殖器系		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	人体系統解剖学	吉川文雄	南山堂	
参考書	分担解剖学	小川鼎三ほか	金原出版	
その他の資料	プリント			

【評価方法】	【履修上の留意点】
--------	-----------

義肢装具自立支援学科 専門